

## ルネサス、2017 年度通期の業績を発表

～自動車・産業を中心に成長、インターシル統合寄与もあり、通期の売上は対前年同一期間比大幅増収、売上高総利益率・営業利益率も共に改善～

2018 年 2 月 9 日

ルネサス エレクトロニクス株式会社

- 2017 年度第4四半期:Non-GAAP ベース<sup>(1)</sup>の半導体売上高は 2,065 億円となり、前年同一期間比 28.0%増収、Non-GAAP ベースの売上高総利益率は 47.9%となり、前年同一期間比 2.3 ポイント増加、Non-GAAP ベースの営業利益(率)は 341 億円(16.2%)となり、前年同一期間比で 113 億円(2.5 ポイント)増益。
- 2017 年度通期:Non-GAAP ベースの半導体売上高は 7,657 億円となり、前年同一期間比 23.4%増収、Non-GAAP ベースの売上高総利益率は 46.7%となり、前年同一期間比 3.1 ポイント増加、Non-GAAP ベースの営業利益(率)は 1,281 億円(16.4%)となり、前年同一期間比で 501 億円(4.2 ポイント)増益。
- 2018 年度第1四半期の見通し:Non-GAAP ベースの半導体売上高は前年同一期間比 3.5%増収の 1,787 億円を見込み、Non-GAAP ベースの売上高総利益率は前年同一期間比 1.6 ポイント減少の 43.9%、Non-GAAP ベースの営業利益率は前年同一期間比 5.1 ポイント減少の 11.3%を見込む。

ルネサス エレクトロニクス株式会社(以下 ルネサス)は本日、2017 年度第4四半期(2017 年 10 月 1 日～12 月 31 日)並びに 2017 年度通期(2017 年 1 月 1 日～12 月 31 日)の業績を発表しました。ルネサスの代表取締役社長兼 CEO の呉 文精は、次のように述べています。

「ルネサスはこれまで、売上増と費用効率化によって、継続的に売上高総利益率および営業利益率を改善させてきました。2017 年第4四半期の Non-GAAP ベースの半導体売上は、インターシル社の統合に加え自動車や産業分野を中心とした売上増により、前年同一期間比で 28.0%増加しました。続く 2018 年度第 1 四半期においても、前年同一期間比での半導体売上の継続的な成長を見込んでいます。」

### 四半期業績概要(億円)

Non-GAAP ベース	2017年度 第4四半期 (2017年10-12月)	2017年度 第3四半期 (2017年7-9月)	2016年度 第3四半期 (2016年10-12月)	前 四半期比	前年 同一期間比
売上高	2,102	1,955	1,664	+7.5%	+26.3%
半導体売上	2,065	1,923	1,614	+7.4%	+28.0%
売上高総利益率	47.9%	47.7%	45.6%	+0.2pts	+2.3pts
営業利益	341	359	228	-19	+113
営業利益率	16.2%	18.4%	13.7%	-2.2pts	+2.5pts
EBITDA <sup>(2)</sup>	545	550	386	-5	+159

GAAP (日本会計基準)	2017年度 第4四半期 (2017年10-12月)	2017年度 第3四半期 (2017年7-9月)	2016年度 第3四半期 (2016年10-12月)	前 四半期比	前年 同一期間比
売上高	2,102	1,955	1,664	+7.5%	+26.3%
半導体売上	2,065	1,923	1,614	+7.4%	+28.0%
売上高総利益率	47.7%	47.6%	44.9%	+0.1pts	+2.8pts
営業利益	219	250	216	-31	+3
営業利益率	10.4%	12.8%	13.0%	-2.4pts	-2.6pts
EBITDA	526	541	374	-15	+151

#### 通期業績概要(億円)

Non-GAAP ベース	2017年度 通期 (2017年1-12月)	2016年 年間 (2016年1-12月)	前年 同一期間比
売上高	7,815	6,388	+22.3%
半導体売上	7,657	6,204	+23.4%
売上高総利益率	46.7%	43.6%	+3.1pts
営業利益	1,281	780	+501
営業利益率	16.4%	12.2%	+4.2pts
EBITDA <sup>(2)</sup>	2,030	1,388	+642

GAAP (日本会計基準)	2017年度 通期 (2017年1-12月)	2016年 年間 (2016年1-12月)	前年 同一期間比
売上高	7,803	6,388	+22.1%
半導体売上	7,644	6,204	+23.2%
売上高総利益率	45.2%	42.4%	+2.8pts
営業利益	784	704	+80
営業利益率	10.0%	11.0%	-1.0pts
EBITDA	1,871	1,312	+559

(1) Non-GAAP ベース: 非経常項目その他特定の調整項目を除いた業績。2016年12月期まではRSP(ルネサスエスピードライバ)にかかる売上および損益の影響、LTE モデム事業にかかる損益の影響、作り貯めの損益の影響を控除。2017年12月期からはインターシル社の買収に伴い、のれんの償却額、買収した無形固定資産の償却額、インターシル社の買収関連費用、株式報酬費用、株式売出し関連費用およびインターシル社買収に伴うPPA(取得原価の配分)影響を除外。(参考:2017年度第4四半期の作り貯めによる損益影響は営業利益に対し-1億円) Non-GAAP ベースと日本会計基準(GAAP)間の調整項目は7ページ参照。

(2) EBITDA: 営業利益+減価償却費+長期前払費用償却額。日本会計基準ベースでは、のれん償却額も含む。

### プロフォーマベース<sup>(3)</sup>の分野別四半期・通期半導体売上

2017年2月に買収完了したインターシル社を統合し、3事業本部体制に再編したことに伴い、ルネサスは、2017年度第2四半期から半導体売上の開示情報について、当社グループの主要な事業内容である「自動車」、「産業」、「ブロードベースド」およびこれらに属さない「その他半導体」に変更しました。

分野別半導体売上 (億円)	2017年度 第4四半期 (2017年10-12月)	2017年度 第3四半期 (2017年7-9月)	2016年度 第3四半期 (2016年10-12月)	前 四半期比	前年 同一期間比
自動車 <sup>(4)</sup>	1,078	1,006	940	+7.2%	+14.7%
産業 <sup>(5)</sup>	596	535	482	+11.3%	+23.5%
ブロードベースド <sup>(6)</sup>	370	374	316	-1.1%	+17.2%
その他半導体	22	8	29	+170.6%	-23.4%
合計	2,065	1,923	1,766	+7.4%	+16.9%

分野別半導体売上 (億円)	2017年度 通期 (2017年1-12月)	2016年 年間 (2016年1-12月)	前年 同一期間比
自動車 <sup>(4)</sup>	4,081	3,584	+13.8%
産業 <sup>(5)</sup>	2,177	1,881	+15.7%
ブロードベースド <sup>(6)</sup>	1,437	1,273	+12.9%
その他半導体	50	55	-10.2%
合計	7,744	6,794	+14.0%

(3) プロフォーマベース:2017年2月24日に買収完了したインターシル社の売上について、買収完了以前も当社売上に加算した試算ベース。

(4) 自動車:「車載制御」および「車載情報」向けにマイクロコントローラ、SoC(system-on-a-chip)、アナログ半導体、パワー半導体を中心に提供。

(5) 産業:「スマートファクトリー」、「スマートホーム」および「スマートインフラ」向けにマイクロコントローラおよび SoC を中心に提供。

(6) ブロードベースド:幅広い用途向けに汎用マイクロコントローラおよび汎用アナログ半導体を中心に提供。

### 2017年度 第4四半期の業績概要 (Non-GAAP ベース)

2017年度第4四半期の連結売上高は2,102億円、前四半期比7.5%増収となりました。前年同一期間比は26.3%増収となりました。半導体売上高は、2,065億円となり、前四半期比7.4%増収となりました。前年同一期間比では、当社売上からインターシル社の売上を除外したルネサス単体ベースでの堅調な成長とインターシル社の統合および2016年に発生した熊本地震の影響が解消されたことなどにより、半導体売上高は28.0%増収しました。プロフォーマベースの自動車向け売上は、車載制御および車載情報ともに強い需要が牽引し、前年同一期間比で14.7%増収しました。産業向けおよびブロードベースド向け売上は、FA(ファクトリーオートメーション)や家電、アナログ半導体での強い需要を主要因として、前年同一期間比でそれぞれ23.5%および17.2%増収しました。

第4四半期の Non-GAAP ベースの売上高総利益率は 47.9%となり、主に在庫評価影響や売上増などにより当社予想よりも 1.6 ポイント上回りました。前四半期対比では 0.2 ポイント増となり、前年同一期間比では大幅な売上増・生産増とインターシル社の統合により 2.3 ポイント増となりました。

第4四半期の Non-GAAP ベースの研究開発費(R&D)は、前四半期の 312 億円および前年同一期間の 282 億円に対し、343 億円となりました。売上高 R&D 比率は 16.3%となりました。

第4四半期の Non-GAAP ベースの販売費および一般管理費(SG&A)は、前四半期の 262 億円および前年同一期間の 249 億円に対し、324 億円となりました。売上高 SG&A 比率は 15.4%となりました。

季節的な増加影響および一時費用を除くと、OPEX(R&D や SG&A などの事業運営に必要な費用)は、長期財務目標の範囲内でコントロールされています。

第4四半期の Non-GAAP ベースの営業利益は 341 億円、営業利益率としては 16.2%になり、第3四半期の Non-GAAP ベースの営業利益 359 億円および営業利益率 18.4%から季節性および一時費用により 19 億円(2.2 ポイント)減少しました。前年同一期間比では、売上増と OPEX の規律ある運営の継続などにより、113 億円(2.5 ポイント)改善しました。

第4四半期の Non-GAAP ベースの親会社株主に帰属する四半期純利益は、303 億円となりました。

第4四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、510 億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは 310 億円の支出となり、その結果、フリー・キャッシュ・フローは 200 億円となりました。

第4四半期の有形固定資産(生産設備)および無形固定資産の設備投資額は、140 億円となりました。これは、これら資産への投資決定ベースの金額であり、キャッシュ・フロー計算書に記載の現金支出とは一致しません。

自己資本比率は、2017 年 9 月 30 日時点の 46.5%に対し、2017 年 12 月 31 日時点では 47.7%となりました。D/E レシオ(グロス)は、2017 年 12 月 31 日時点で 0.45 倍となりました。

## 2017 年度 通期の業績概要(Non-GAAP ベース)

2017 年度通期の連結売上高は 7,815 億円、前年同一期間比は 22.3%増収となりました。半導体売上高は、7,657 億円となり、前年同一期間比では、当社売上からインターシル社の売上を除外したルネサス単体ベースでの堅調な成長とインターシル社の統合および前年同一期間に発生した熊本地震の影響が解消されたことなどにより、半導体売上高は 23.4%増収しました。プロフォーマベースの自動車向け売上は、車載制御および車載情報ともに強い需要が牽引し、前年同一期間比で 13.8%増収しました。産業向けおよびブロードベース向け売上は、FA(ファクトリーオートメーション)や家電、アナログ半導体での強い需要を主要因として、前年同一期間比でそれぞれ 15.7%および 12.9%増収しました。

2017 年度通期の Non-GAAP ベースの売上高総利益率は 46.7%となり、前年同一期間比では主に売上増とインターシル社の統合により 3.1 ポイント増となりました。

2017 年度通期の Non-GAAP ベースの研究開発費(R&D)は、前年同一期間の 1,053 億円に対し、1,259 億円となりました。売上高 R&D 比率は 16.1%となりました。

2017 年度通期の Non-GAAP ベースの販売費および一般管理費(SG&A)は、前年同一期間の 954 億円に対し、1,113 億円となりました。売上高 SG&A 比率は 14.2%となりました。

OPEX(R&D や SG&A などの事業運営に必要な費用)は、成長に向けて R&D に投じる一方で規律ある SG&A のコントロールを継続しています。

2017 年度通期の Non-GAAP ベースの営業利益は 1,281 億円、営業利益率としては 16.4%になり、前年同一期間の Non-GAAP ベースの営業利益 780 億円および営業利益率 12.2%から売上増と OPEX の規律ある運営の継続などにより改善しました。

2017 年度通期の Non-GAAP ベースの親会社株主に帰属する純利益は、1,239 億円となりました。  
なお、2017 年度通期の Non-GAAP ベースの一株当たりの純利益は 74.3 円となりました。

2017 年度通期の営業活動によるキャッシュ・フローは、1,642 億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは買収関連支出による 3,114 億円の支出などもあり、4,326 億円の支出となり、その結果、フリー・キャッシュ・フローは-2,684 億円となりました。

2017 年度通期の有形固定資産(生産設備)および無形固定資産の設備投資額は、785 億円となりました。これは、これら資産への投資決定ベースの金額であり、キャッシュ・フロー計算書に記載の現金支出とは一致しません。

## 2018 年度 第 1 四半期の見通し

2018 年度第 1 四半期は、前年同一期間比 3.5%増の 1,787 億円の半導体売上高を見込みます。Non-GAAP ベースの売上高総利益率は、前四半期比は主に売上減により 4.1 ポイント減、前年同一期間比は主に償却費増により 1.6 ポイント減の 43.9%、Non-GAAP ベースの営業利益率は前四半期比 4.9 ポイント減、前年同一期間比 5.1 ポイント減の 11.3%を見込みます。

為替前提は、1 米ドル 107 円、1 ユーロ 132 円としています。

第 1 四半期の有形固定資産(生産設備)および無形固定資産の設備投資額(期間中の投資決定ベースの金額)は、売上高比で 10.4%となる見込みです。

以上

### **(ご参考)**

連結貸借対照表、連結損益計算書、連結キャッシュ・フロー計算書については、本日発表の「2017年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

### **(将来予測に関する注意)**

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略及び業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、(1)ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2)市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4)為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因があります。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

ルネサス エレクトロニクス  
Japan GAAP(日本会計基準)とNon-GAAP間の調整項目

(億円)	2018年 第1四半期予 (2018年1-3月)	2017年 第4四半期実績 (2017年10-12月)	2017年 第1四半期実績 (2017年1-3月)	2016年 第3四半期実績 (2016年10-12月)
------	--------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------	-----------------------------------

売上高(PPA 調整後)	1,820	2,102	1,772	1,664
PPA 影響	-	+0	+4	-
Non-GAAP 売上高	1,820	2,102	1,776	1,664

GAAP 売上高総利益	794	1,002	777	747
GAAP 売上高総利益率 (%)	43.6%	47.7%	43.8%	44.9%
PPA 影響(COGS)	+3	+4	+31	-
作り貯め	-	-	-	+12
株式報酬費用 (COGS)	+1	+2	+0	-
Non-GAAP 売上高総利益	798	1,008	808	759
Non-GAAP 売上高総利益率 (%)	43.9%	47.9%	45.5%	45.6%

GAAP 営業利益	100	219	221	216
作り貯め	-	-	-	+12
PPA 影響(売上高・COGS)	+3	+4	+31	-
PPA 影響(SG&A) 固定資産償却の増加等	+1	+2	+1	-
株式報酬費用 (COGS)	+1	+2	+0	-
のれんの償却額 (SG&A)	+50	+53	+18	-
インターシル社買収関連費用 (SG&A)	+4	+2	+5	-
インターシル社買収関連費用 (R&D)	+1	+1	-	-
買収した無形資産の償却額 (SG&A)	+38	+44	+15	-
株式報酬費用 (R&D)	+3	+5	+0	-
株式報酬費用(SG&A)	+5	+9	+0	-
株式売出し関連費用 (SG&A)	-	-	-	-
Non-GAAP 営業利益	206	341	291	228
Non-GAAP 営業利益率 (%)	11.3%	16.2%	16.4%	13.7%

GAAP 親会社株主に帰属する四半期純利益	160	186	172	247
営業利益段階までの調整項目	+107	+122	+70	+12
経常損益の調整項目(PPA 影響)	-	+1	-	-
純利益調整項目(PPA 影響)	-	-5	-5	-
純利益調整項目(インターシル社買収関連影響)	-82	-	-	-
Non-GAAP 親会社株主に帰属する四半期純利益	184	303	236	259

**ルネサス エレクトロニクス**  
**Japan GAAP(日本会計基準)とNon-GAAP間の調整項目**

(億円)	2017年 通期実績 (2017年1-12月)	2016年 12か月累計 (2016年1-12月)
------	-------------------------------	---------------------------------

売上高(PPA 調整後)	7,803	6,388
PPA 影響	+12	-
Non-GAAP 売上高	7,815	6,388

GAAP 売上高総利益	3,528	2,712
GAAP 売上高総利益率 (%)	45.2%	42.4%
PPA 影響(COGS)	+124	-
作り貯め	-	+76
株式報酬費用 (COGS)	+2	-
Non-GAAP 売上高総利益	3,653	2,788
Non-GAAP 売上高総利益率 (%)	46.7%	43.6%

GAAP 営業利益	784	704
作り貯め	-	+76
PPA 影響(売上高・COGS)	+124	-
PPA 影響(SG&A) 固定資産償却の増加等	+7	-
株式報酬費用 (COGS)	+2	-
のれんの償却額 (SG&A)	+174	-
インターシル社買収関連費用 (SG&A)	+15	-



インターシル社買収関連費用 (R&D)	+1	-
買収した無形資産の償却額 (SG&A)	+147	-
株式報酬費用 (R&D)	+11	-
株式報酬費用(SG&A)	+15	-
株式売出し関連費用 (SG&A)	+2	-
Non-GAAP 営業利益	1,281	780
Non-GAAP 営業利益率 (%)	16.4%	12.2%

GAAP 親会社株主に帰属する純利益	772	544
営業利益段階までの調整項目	+497	+76
経常損益の調整項目(PPA 影響)	+1	-
純利益調整項目(PPA 影響)	-30	-
Non-GAAP 親会社株主に帰属する純利益	1,239	620